

うるしアンソロジー合本 二〇一四-二〇二〇

灰皿町

編註

一、本書はウェブサイト「灰皿町」「うろこシティ」において、年末に詩作品の投稿を募り、各年ごとにウェブページにまとめている「うろこアンソロジー」の印刷版である。独立した各年度版の合本の形をとっている。

一、ウェブページの雰囲気を継承するために、逆編年体とした。

一、総目次、各年版の目次、著者別目次（著者名の五十音順）を設けた。

うろこアンソロジー合本 二〇一四―二〇二〇

総目次

この雑踏に立てば、いろんなオトが聞こえてくる／街角に群れる（形而上学的考察）

富澤守治

擬態

清水鱗造

コウノトリ

南原充士

悠久錦

鵜飼千代子

冬至

南川優子

昔日のおもいで

三井喬子

3つのリボン

有働薫

うろこアンソロジー 二〇一九年版

目次

珪化木のな、

海埜今日子

海のモーツァルト

有働薫

土手の上を

三井喬子

叫びたいと希み

富澤守治

猫

南原充士

低溫火傷

鵜飼千代子

乗換え駅

清水鱗造

うろこアンソロジー 二〇一八年版

目次

64

ホルスタインの町から

南原充士

65

ホワイトタイガー

鵜飼千代子

69

転がり絵本

清水鱗造

72

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』 第4回（最終回）

有働薫

74

古塔

海埜今日子

84

冬至のころ、黎明の声
―平成の時の終わりに―

富澤守治

87

うろこアンソロジー 二〇一七年版

目次

92

小さな人形

南原充士

93

シルバーカーと一緒にね

鵜飼千代子

95

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』 第3回

有働薫

99

原稿 ブロンテ牧師館にて

南川優子

104

アブサン土偶

海埜今日子

109

枝先にて震えが伝わり

富澤守治

112

骨組み

清水鱗造

115

うろこアンソロジー 二〇一六年版

目次

118

夢

南原充士

119

管 —— 畳み重なるご無礼の数々

三井喬子

121

耳の家族

高田昭子

125

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』 第2回

有働薫

128

桂花醬

鵜飼千代子

136

Night Jewels 夜の宝石

南川優子

139

今年の藪

清水鱗造

141

願い、恋心はかなく(歌曲、習作)

富澤守治

143

うろこアンソロジー 二〇一五年版

目次

146

忘却の川

南原充士

147

負んぶ

高田昭子

149

豚薄切り肉

南川優子

152

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』 第1回

有働薫

155

闇から闇へと旅する 台本

富澤守治

160

午前 林を歩く

清水鱗造

169

晩秋 ― 枯れ葉たち ―

富澤守治

173

海の故郷

南原充士

175

疾走するモーツァルト

有働薫

176

旅について

清水鱗造

178

母

岡田すみれこ

180

ててっぽっぽう

高田昭子

183

うしろアングルロビー
二〇二〇年版



著者別目次

(著者名五十音順)

鵜飼千代子

悠久錦

23

低温火傷

58

ホワイトタイガー

69

シルバーカーと一緒にね

95

桂花醬
ケイファジャン

136

有働薫

3つのリボン

32

海のモーツアルト

40

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』第4回（最終回）

74

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』第3回

オペラ・エクローグ『同級生夫婦』第2回

128 99

著者別目次

母	岡田すみれこ	珪化木のな、 古塔	海埜今日子	オペラ・エクログ『同級生夫婦』 第1回 疾走するモーツァルト
180		84		176
		109	37	155

清水鱗造

擬態

18

乗換え駅

61

転がり絵本

72

骨組み

115

今年の藪

141

午前 林を歩く

169

旅について

178

高田昭子

耳の家族

125

負んぶ

149

ててっぽっぽう

183

富澤守治

この雑踏に立てば、いろんなオトが聞こえてくる／街角に群れる（形而上学的考察） 11

叫びたいと希み 45

冬至のころ、黎明の声 — 平成の時の終わりに — 87

枝先にて震えが伝わり 112

願い、恋心はかなく（歌曲、習作） 143

闇から闇へと旅する 台本 160

晩秋 — 枯れ葉たち — 173

南原充士

コウノトリ 20

猫 56

ホルスタインの町から 65

小さな人形

夢

119

忘却の川

海の故郷

175 147

93

三井喬子

昔日のおもいで

土手の上を

43

29

管 — 畳み重なるゝ無礼の数々

121

南川優子

冬至

26

著者別目次

原稿 ブロンテ牧師館にて
Night Jewels 夜の宝石
豚薄切り肉

152

104

139